

製品名: GCLC ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21252**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:73kD;Observed MW:73kD

抗原情報

遺伝子名	GCLC
別名	GCLC;GLCL;GLCLC;Glutamate--cysteine ligase catalytic subunit;GCS heavy chain;Gamma-ECS;Gamma-glutamylcysteine synthetase
遺伝子 ID	2729.0
SwissProt ID	P48506
免疫原	ヒト GCLC の合成ペプチド

背景

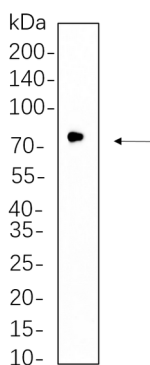
細胞局在: 細胞質。グルタミン酸システインリガーゼ (γ -グルタミルシステイン合成酵素とも呼ばれる) は、グルタチオン合成にお

ける最初の律速酵素である。この酵素は、重触媒サブユニットと軽調節サブユニットの2つのサブユニットから構成される。この遺伝子座は触媒サブユニットをコードし、調節サブユニットは染色体 1p22-p21 に位置する別の遺伝子に由来する。この遺伝子座の変異は、 γ -グルタミルシステイン合成酵素の欠損による溶血性貧血および心筋梗塞の感受性と関連付けられている。[RefSeq 提供、2010年10月]

研究分野

-

画像データ



Hela 細胞ライセートを 4~20% SDS-PAGE で分離し、膜を GCLC ウサギモノクローナル抗体 (1:1000) でプロットングした。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG(H + L)抗体を用いた。